

令和5（2023）年度 釧路市立大楽毛小学校グランドデザイン

【学校教育目標】

- 心身ともに健康な人（たくましい子）
- 明るく情操豊かな人（心ゆたかな子）
- 知性高く教養豊かで正しく判断し進んで実行できる人（考える子）
- 友だちと楽しく交わり協力できる人（協力する子）
- 約束を守り言葉や行いに責任を持つ人（責任をもつ子）

【目指す子どもの姿】

「役に立つ喜び」や「やればできること」を実感し、自他を大切にできる子ども

【目指す子どもの姿】を実現するために子どもたちに必要な資質・能力

好奇心

探究心

向上心

相手意識

協働性

挑戦する力

やり抜く力

コミュニケーション能力

チャレンジ

あいさつ

思いやり

考えよう

今年度の学校としての重点的な取組

1 授業改善等の充実

- ・身に付けさせたい資質・能力を明確にした子ども主体の授業（行事・活動）づくり
- ・ICT を効果的に活用した個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実による授業づくり
- ・単元のまとまりをデザインし、「タイムマネジメント」を意識した1時間の授業づくり
- ・授業改善チームの積極的な活用と、メンター研修の実施

2 学級経営の充実

- ・学校が一体となってベクトルを揃え、学習規律を含めた取組を「徹底」～見逃さない姿勢
- ・生徒指導の実施上の視点を取り入れた学級経営の推進～学習環境、言語環境の整備（自己存在感の感受、共感的な人間関係の育成、自己決定の場の提供、安全・安心な風土の醸成）
- ・読書活動を効果的に取り入れた心の教育の推進
- ・子どもの実態等を踏まえた「特別教科 道徳」を核とした道徳教育の推進

3 体験的な活動の充実

- ・リアルな体験活動の推進と、それを補完、促進、充実するICT を活用した学習の推進
- ・地域素材を生かした教育活動の推進（地域のよさ）～生活科・総合的な学習の時間の見直し

4 小・中ジョイントプロジェクトによる校種間連携及び学校・家庭・地域連携

- ・9年間を見通した大楽毛地区の目指す子どもの姿の設定と、校種の理解促進に向けた取組の推進
- ・CS を軸とした地域とともにある学校づくりの推進～地域の人・もの・ことに学ぶ

5 子どもたちの安全確保

- ・いじめや災害等に係る危機管理マニュアルの不断の見直し
- ・地域、家庭と連携した防災に係る取組等の計画的な実施

6 働き方改革の推進

- ・「コアチーム」による業務の見直しと、ワークライフバランスを意識した職場環境づくり
- ・業務効率化等を目指したICT の活用に係る研修会の定期的な実施

目指す学校の姿：子どもを大切にした学校・子どもが育つ学校